

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	医療社会事業従事者(医療ソーシャルワーカー)指導強化費			担当部局庁	健康局			作成責任者	
事業開始年度	昭和63年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	がん対策・健康増進課保健指導室			保健指導室長 島田 陽子	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-10-1 地域住民の健康の保持・増進及び地域住民が安心して暮らせる地域保健体制の確保を図ること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療技術の高度化、専門分野及び福祉政策の拡充等に伴う社会保障制度全般の複雑化、多様化に対応できるように、地域における指導者を養成し、医療社会従事者全体の資質向上を図る。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	医療ソーシャルワーク部門のリーダーが病院内外のソーシャルワーク活動を戦略的にマネジメントするために必要な知識・技術を習得するための研修を国立保健医療科学院において実施する。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算の状況	当初予算	0.8	0.8	0.9	0.7			
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計	0.8	0.8	0.9	0.7	0			
	執行額	0.5	0.7	0.6					
執行率(%)	63%	88%	67%						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 35年度	
	平成35年度に医療ソーシャルワーカー研修参加者数を142人まで引き上げる	医療ソーシャルワーカー研修参加者数	成果実績	人	96	100	93		
			目標値	人	95	96	100	対前年度以上	
			達成度	%	101.1%	104.2%	93%		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	医療ソーシャルワーカー研修回数	活動実績	回	2	2	2			
		当初見込み	回	1	1	1	1		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	X:当該年度執行額(円)÷Y:研修参加者数	単位当たりコスト	円	5,664	6,626	6,630	8,000		
		計算式	X/Y	534,155/96	662,634/100	616,632/93	744,000/93		
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	0.4							
	委員等旅費	0							
	庁費	0.3							
	計	0.7	0						

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	患者等が安心して退院、社会復帰できる体制づくりを推進するため、国費を投入して継続的に医療ソーシャルワーカーの資質向上に取り組む必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	日本の医療制度や医療ソーシャルワーカーの現況等、医療ソーシャルワーク活動を戦略的にマネジメントするために必要な高度の知識・技術の習得を国として統一的に実施することを目的としており、国において実施する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	患者等が安心して退院、社会復帰できる体制づくりを推進するため、継続的に医療ソーシャルワーカーの資質向上に取り組む必要があり、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		△	研修参加人数の増加を働きかけることによって、単位当たりのコスト削減に努めている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	医療ソーシャルワーカーの資質向上のための研修経費としている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	研修に係る謝金、旅費、消耗品等に係る支出を抑えたこと等により不用が生じた。	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	コスト削減や効率化に向け、執行実績を勘案した予算積算としている。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	研修参加者数は高水準で推移しており、成果目標に見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	例年2回研修を行っており、見込みに見合ったものであると言える。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
-	-	-			
-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	患者等が安心して退院、社会復帰できる体制づくりを推進するため、継続的に医療ソーシャルワーカーの資質向上に取り組む必要がある。研修参加者数は高水準で推移しており、引き続き事業の適正執行及び周知を推進すべきと判断。			
	改善の方向性	今後も引き続き適正執行に努め、事業を推進すべきと判断。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	299	平成23年度	273	平成24年度	237
平成25年度	276	平成26年度	289		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
0.6百万円

〔医療ソーシャルワーカー研修の執行管理〕



国立保健医療科学院  
0.6百万円

〔研修に係る諸謝金、旅費、消耗品費〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 文祥堂	医療ソーシャルワーカー研修に係る消耗品費	0.1	随意契約	-
2	(株)竹宝商会	医療ソーシャルワーカー研修に係る消耗品費	0.1	随意契約	-
3	個人A	医療ソーシャルワーカー研修講師謝金・旅費	0.1	-	-
4	富士ゼロックス埼玉(株)	医療ソーシャルワーカー研修に係る消耗品費	0.1	随意契約	-
5	個人B	医療ソーシャルワーカー研修講師謝金・旅費	0.1	-	-
6	個人C	医療ソーシャルワーカー研修講師謝金・旅費	0.1	-	-